

A Y - 7, B Y - 7

臨 床 心 理 学

以下の事例を読んで、次の1及び2の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

Aは、高校2年生の女性である。担任教諭に連れられてスクールカウンセラーの元にやってきた。スクールカウンセラーが担任教諭から聞いた話では、ホームルームの時間にAが教室にいなかったことから探し回ったところ、Aは、女子トイレでリストカットしていたという。Aの腕を見ると、古いものを含めていくつかのリストカットの跡があった。Aは、スクールカウンセラーの前で、声を上げずに涙を流し、「もう絶対にしないから、家族には言わないでほしい。」と言っている。

スクールカウンセラーは、Aに一旦席を外してもらい、担任教諭から話を聞いた。担任教諭によると、Aは、クラスでも大人しく目立たない生徒である。高校2年時にクラス替えがあったが、5月頃から、休み時間も一人であることが多くなったという。また、Aの両親は非常に教育熱心であり、成績優秀で明るい兄と比べ、大人しいAのことを常に気にかけている様子であるとのことであった。

- 1 スクールカウンセラーとして、Aと面接を行うに当たり、どのような情報をどのように収集するか。その際に配慮すべき事項にも触れながら、具体的に論ぜよ。
- 2 スクールカウンセラーとして、このケースに対応するに当たり、どのような方針を立てることが考えられるか。その際に留意すべき事項にも触れながら、具体的に論ぜよ。

(100点)

A Y - 7, B Y - 7

発 達 心 理 学

仲間関係について、次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 仲間関係の発達過程について説明せよ。
- 2 1の仲間関係の発達過程に関わる要因や背景について説明せよ。
- 3 青年期の仲間関係が及ぼす肯定的な影響と否定的な影響について、それぞれ具体例を挙げながら論ぜよ。

(100点)

A Y - 7, B Y - 7

社 会 心 理 学

原因帰属のバイアスについて、次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 「基本的な帰属のエラー」、「行為者－観察者バイアス」、「自己奉仕バイアス」について、それぞれ説明せよ。
- 2 1が生じる原因について、それぞれ説明せよ。
- 3 AとBの二人が共同事業を進めていたところ、Bのミスで事業が失敗し、二人の関係が悪化した。この悪化に、原因帰属の問題がどのようにかかわっていた可能性があるか、1及び2に基づいて論じるとともに、二人の関係を改善するための効果的なアドバイスの例を挙げよ。

(100点)

A Y - 7, B Y - 7

家 族 社 会 学

家庭内無償労働（家事，育児，介護，看護）について，次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 家庭内無償労働のあり方は，第二次世界大戦後どのように変化してきたか。
3段階に分けて説明せよ。
- 2 1について，その背景にある社会的・経済的变化を説明せよ。
- 3 家庭内無償労働の負担を軽減したり，配分の不均衡を解消したりするために，どのような対応がされてきたか。また，残された課題は何か。ライフスタイルの変化や家族の多様化の観点から論ぜよ。

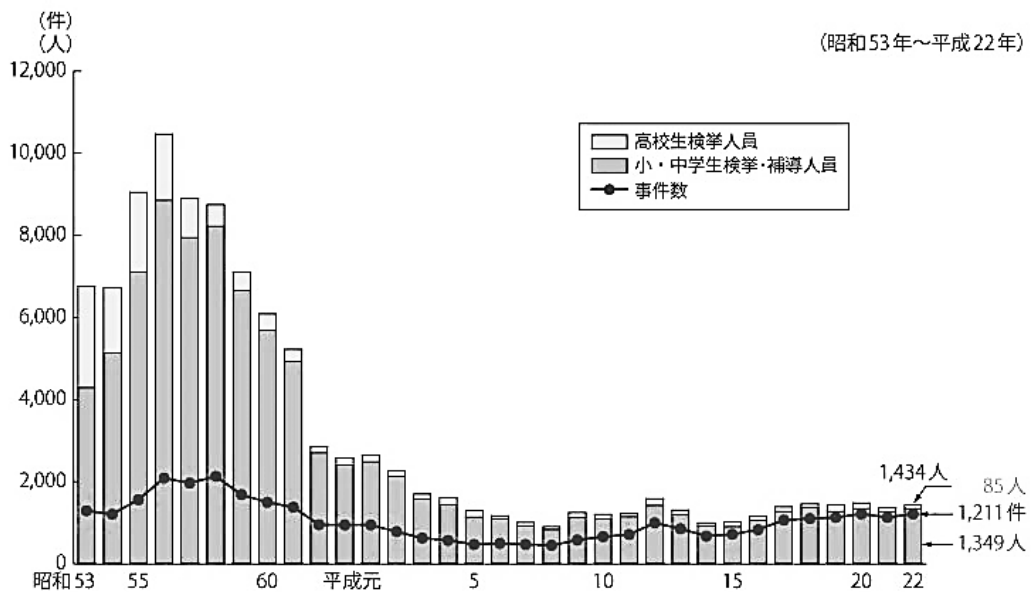
(100点)

A Y - 7, B Y - 7

社 会 病 理 学

日本における校内暴力に関して、次の1及び2の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

校内暴力事件 事件数・検挙・補導人員の推移



注 1 警察庁生活安全局の資料による。
2 平成12年以降は、小学生を含む。

出典：平成23年版犯罪白書 (法務省ウェブサイト)

- 1 上の図は、「校内暴力事件 事件数・検挙・補導人員の推移」を表している。この図から読み取れることを指摘せよ。
- 2 1で指摘した内容も踏まえ、日本における校内暴力について、その概況及びそれが生じた理由を論ぜよ。

なお、以下の語句から二つ以上を選んで使用し（順不同）、その語句には下線を付すこと。

- | | | | |
|-------|--------|-------|------|
| 世代間葛藤 | 価値の多様化 | 排除型社会 | 対抗文化 |
| 個人主義化 | 社会の流動化 | 学校化社会 | 成熟社会 |

(100点)

A Y - 7, B Y - 7

社 会 福 祉 援 助 技 術

国際ソーシャルワーカー連盟（I F S W）による「ソーシャルワークのグローバル定義」（以下「グローバル定義」という。）について、次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

1 「グローバル定義」の内容について、簡潔に説明せよ。

なお、以下の4語をそれぞれ1回は使用し（順不同）、その語句には下線を付すこと。

多様性の尊重

マクロレベルの重視

先進諸国以外からの声

学問

2 「グローバル定義」の中でソーシャルワークの目標とされるウェルビーイングについては、世界保健機関（WHO）による健康の定義でも用いられている。WHOによる健康の定義を参考にしながら、ウェルビーイングについて複数の次元を取り上げ、それぞれの内容を説明せよ。

3 ソーシャルワーカーがウェルビーイングの達成を目指すためには、どのような支援が求められるか。2で記載した内容を踏まえ、具体例を挙げて論ぜよ。

(100点)

A Y - 7, B Y - 7

児 童 福 祉 論

児童の権利に関する条約や、平成28年に改正された児童福祉法では、家庭養護 (family-based care) の推進が明確にされている。これに関連して、次の1から3までの小問に答えよ (問いの順に解答すること)。

- 1 家庭養護について説明せよ。
- 2 家庭養護の推進について、その背景及び意義を説明せよ。
- 3 家庭養護の推進について、その課題及び対策 (取組例) を論ぜよ。

(100点)

A Y - 7, B Y - 7

高 齢 者 福 祉 論

ケアマネジメントについて、次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 ケアマネジメントについて、その一般的なプロセスを示すとともに、ケアマネジメントの目的及び機能を説明せよ。
- 2 わが国の介護保険制度において、「居宅介護支援」としてケアマネジメントの仕組みが導入された背景について論ぜよ。
- 3 わが国の介護保険制度における居宅介護支援の課題について、ケアマネジメントの視点から論ぜよ。

(100点)

A Y - 7, B Y - 7

教 育 方 法 学

平成29年3月に公示された小学校学習指導要領・中学校学習指導要領について、次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 本学習指導要領への改訂は、どのような視点、方向性を持って行われたかを説明せよ。
- 2 1で説明した視点、方向性が重視されるようになった背景について論ぜよ。
- 3 1で説明した視点、方向性で教育課程を編成していく際の留意点について、これからの教育課程の理念にも触れながら論ぜよ。

(100点)

A Y - 7, B Y - 7

教 育 心 理 学

授業の方法として用いられる発見学習と受容学習に関して、次の1から3までの小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 仮説実験授業について、授業の進め方を説明するとともに、この授業の長所及び短所を説明せよ。
- 2 有意味受容学習について、オーガナイザーの機能に触れながら説明せよ。
- 3 発見学習及び受容学習のいずれも用いることができると考える授業内容の具体例を挙げ、なぜ、いずれも用いることができると考えたかを具体的に説明せよ。
その上で、その授業を行う具体的な場面を想定し、どちらの授業方法を用いるかについて、教授・学習の観点を踏まえて論ぜよ。

(100点)

A Y - 7, B Y - 7

教 育 社 会 学

日本の教員を取り巻く状況について、次の1及び2の小問に答えよ（問いの順に解答すること）。

- 1 日本の教員の職務内容や労働時間をめぐる諸問題について、その社会的背景も含めて論ぜよ。
- 2 1を解決するための方策について、どのようなことが考えられるか論ぜよ。

(100点)

A Y - 7, B Y - 7

民 法

民法は、**2題出題**されています。

民法を選択する場合は、**第1問又は第2問のどちらか1題のみを選択して解答**してください。その際、答案用紙表面上部の受験科目欄には、「民法」と記入するほか、選択した問題にあわせて「**第1問**」か「**第2問**」を○で囲んでください。

第 1 問

Bは、甲土地の所有者Aを騙してAから甲土地を買い受け、その所有権移転登記を了した。以下の各問に答えよ（各問は独立したものとする。）。

- 1 Bは、更にCに甲土地を売却したが、その後、Aは、Bに騙されていたことに気が付き、AB間の甲土地の売買契約を取り消した。AC間の法律関係について論ぜよ。
- 2 Aは、Bに騙されていたことに気が付き、AB間の甲土地の売買契約を取り消したが、その後、Bは、甲土地の登記がなお自己名義であることを利用して、Dに甲土地を売却した。AD間の法律関係について論ぜよ。

(100点)

第 2 問

Aは、Bに対し、Aの所有する二階建ての戸建て住宅である甲建物を賃料月額20万円の約定で賃貸した。Bは、主に甲建物の一階部分に居住しており、二階部分をほとんど使用していなかったところ、Bの弟Cが自宅建物を改築するに際して、その工事期間中の住居を必要としていたため、Aには無断で、Cの自宅建物改築工事が完成するまでの約半年間、甲建物の二階部分をCに転貸することとし、Cから賃料として毎月3万円を受領している。

この事例において、AがB及びCのそれぞれに対して甲建物の明渡しを請求するために考えられる法的構成を述べた上で、その請求が認められるかについて論ぜよ。

(100点)

A Y - 7, B Y - 7

刑 法

刑法は、**2題出題**されています。

刑法を選択する場合は、**第1問又は第2問のどちらか1題のみを選択して解答**してください。その際、答案用紙表面上部の受験科目欄には、「刑法」と記入するほか、選択した問題にあわせて「**第1問**」か「**第2問**」を○で囲んでください。

第 1 問

Aは、甲を殺害しようとして、甲の頭を木刀で殴打しようとしたが、甲が両手で頭を庇ったため衝撃が緩和され、通常であれば死に至るほどの打撃を加えることはできなかった。ところが、甲にはたまたま脳血腫があり、血腫部位に打撃が加わったため、甲は死亡した。

犯行時、Aが脳血腫の事実を知らなかった場合、Aはどのような罪責を負うか、反対説を批判した上で、自説に基づいて論ぜよ。

(100点)

第 2 問

Aは、財布を窃取するため甲に近付き、甲のポケットから財布を抜き取って逃走した。甲は直ちにAを追い掛け、5分後、700メートル先の路上でAを捕まえようとした。Aは捕まってたまるかと思い、路上にあった直径15センチメートルの石を拾って頭上に振り上げ、「頭を叩き割るぞ。」と叫んだ。甲は、殺されるのではないかと恐怖を感じ、逃げようとしたところ縁石を踏み外し、左足首骨折の傷害を負った。この場合のAの罪責について論ぜよ。

(100点)

以 上